

NexCamera



IPカメラのIoT M2M活用ソリューションのご提供を実現

独自の映像圧縮、転送技術により、これまで難しかった不安定なネットワーク環境下でもIPカメラを導入頂けます。

また、各種センサーなどIP機器のデータとカメラ映像が連携することで、映像を活用した可視化によるIoT/M2Mソリューションを実現します。

NEXCAM®

Field Box®

PRONEXSYSTEM®

NEXCAM®

低トラフィック回線でも非常に安定したライブ動画・録画・再生・保存のソフトウェア

NEXCAM®の特徴は、サーバー主導の静止画録画を採用したことにより、サーバー負荷を軽減し、サーバー1台の設置と、同一ネットワーク環境で最大100台のIPカメラを接続することが可能です。このことにより、複数台カメラを必要とする場合、サーバーも増設が必要となる従来の方法よりも、

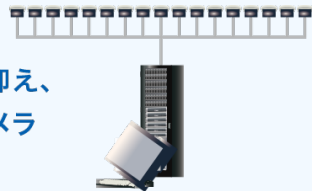
導入コストを大幅に抑えることができます。

また、NEXCAMは、IPカメラ、アナログカメラを問わず使用できる製品で、既存のアナログカメラを無駄にすることなく移行が可能です。さらに、3Gまたは4G回線やWi-Fi環境下なら場所を選ばず、タブレット端末やスマートフォンからでも映像を閲覧することができます。

NEXCAM

サーバー主導で静止画を撮影・保存・動画生成するため、低トラフィックで安定しサーバー1台で最大100台のIPカメラを接続可能。

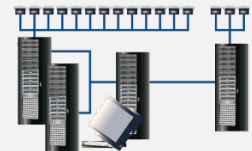
導入コストを抑え、
100台のIPカメラ



従来の製品

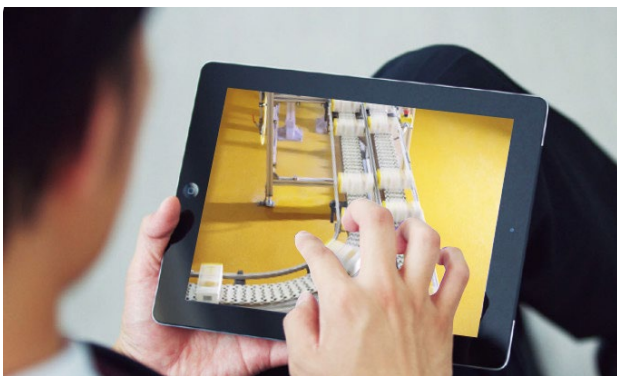
カメラから常に動画映像が送られるため、トラフィックに負荷が生じるため複数のサーバーが必要。さらにデータが肥大し、長期保存も困難。

導入コスト・
ランニングコストが
高い



簡単巻き戻し再生ですぐ確認

静止画録画方式を採用することで、ストーリーミング録画では難しい巻き戻しを簡単に行うことができます。いま起こった状況ですぐに手元で再生することができます。



海外のリアルタイムが見える

オリジナル配信システムで低トラフィックでも安定した録画・再生を実現。国内のみならず海外のリアルタイムの状況がスマートフォンやタブレット端末から確認できます。



電源を確保するだけですぐにクラウドサーバーに録画開始。

カメラ、SIMカード用ルーターなど一体型の屋外専用パッケージ

電源確保ですぐに使用できる コンパクト設計

電源確保ができない場合でも、
バッテリー、ソーラーパネル発電に
よる対応も可能

防水・防塵・UVカットの 標準仕様

各種センサー、LED仕様、
タイマー、防塩・防X線・
防爆仕様などの対応も可能



屋外の同一使用現場で 複数台設置可能

MVNOを利用し、インターネット回線経由で
クラウドサーバーへ個別録画するので、
複数台導入も可能

オプションのスマホ・タブレット用アプリで 円滑管理

Field BoxをWi-Fi拠点とし、一括管理
できるフォーマットで報告レポートを
現場で作成、端末から送信

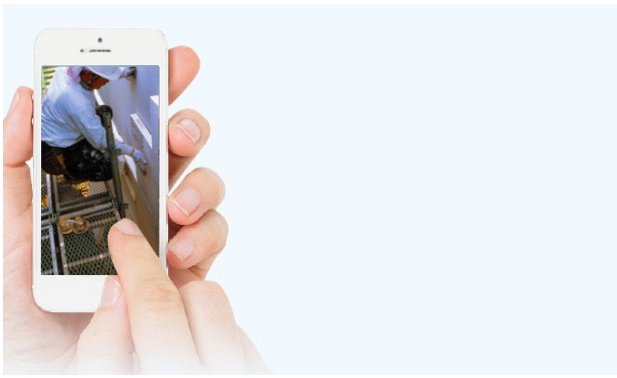
Field Box[®]は、工期の短い屋外の建設現場でも簡易的に設置可能なカメラ装置として開発されたパッケージです。面倒な設置・設定などを必要とせず、電源スイッチを入れるだけで録画を開始し、MVNO(※Mobile Virtual Network Operator仮想移動体通信事業者)を利用したインターネット回線経由でクラウドサーバーへ録画保存します。

また、防水・防塵・UVカットの標準仕様で、屋外での使用環境に合わせ各種センサー、LED仕様、タイマー、防塩・防X線・防爆仕様(※仕様により各種認可取得が必要な場合あり)など対応できるコンポーネントをご用意しております。

高圧縮・高解像度の低トラフィックデータなので社内LANだけでなく、タブレット端末やスマートフォンでも閲覧可能です。

工事進捗状況レポート作成

各種センサーと連動



Field BoxをWi-Fi拠点として、工事進捗状況の報告書をスマートフォンアプリで一括管理が可能です。統一のレポートフォーマットで管理・運営が円滑に進みます。



Field Boxと各種センサーを連動させることによって、要求する情報を映像に埋め込み、同一画面の可視化とデータ検索機能で、業務を円滑に進めることが可能となります。

PRONEXSYSTEM[®]

NEXCAM[®]と各種センサーの連動で生まれるIoTソリューション、 映像&各種情報のデータマッチングマネジメントシステム

PRONEXSYSTEM[®]は、動画圧縮・転送技術と各種センサーから取得した情報をカメラ映像に埋め込み同一画面に表示します。

例えば、店舗管理システムとデータ連携することで、本社から各店舗売場の状態を映像とデータで同時に把握することが可能です。

カメラ映像と各種デバイス機器・機械の情報データをマッチングして可視化することによって、カメラ映像がビックデータへと生まれ変わります。

ビジネスを新たなステージへ

モジュール(各種センサー・機器など)を連動させることによって、要求する情報を映像に埋め込み、同一画面の可視化でビジネスを新たなステージへ進めることが可能です。

